

第41回博雅会雅楽公演～五常の楽舞～

新壺万円札の肖像画であり、また大河ドラマでも大活躍の渋沢栄一。
彼の著書「論語と算盤」は、日本を近代国家へと導く礎となりました。
論語は、堺が生み出した偉人・与謝野晶子も樋口朱陽の漢学塾で学んだといわれています。

論語において特に重要視される徳性「五常（仁・義・礼・智・信）」。
人を思いやり、利欲に捉われず、制度を守り、道理を良く知り、約束を守る。
人としてあるべき姿を表したこの「五常」を、
雅楽の音階である「五声（宮・商・角・微・羽）」に当てはめて作曲されたのが『五常楽』です。
五常は「ごじょう」と読みますが、五常楽の「常」は濁点なしの「ごしょうらく」と読みます。
今回、この『五常楽』を序・詠・破・急の四楽章全てを
現存する欠けの無い完全な形（壺具といいます）で披露いたします。

新型コロナは世界を一変させました。
これから、どんな世界が待っているのでしょうか？
改めて、価値観を見直す良い機会です。
『五常楽』の楽（うた）と舞、思う存分ご堪能ください。



博雅会

雅楽の自由な演奏活動を目的に、1999年4月に発足致しました。
メンバーは、北海道から九州までの全国各地に在住する次世代の
雅楽を担う雅楽演奏家達です。
メンバーが全国各地に点在するという性格を生かし、全国各地の
雅楽演奏団体とも交流し、講師派遣・人材交流なども積極的に行
なっております。
「博雅」とは「広く物事をよく知る」との意味であり、
平安中期における大音楽家であり映画『陰陽師』でも御馴染みの
源博雅（みなもとのひろまさ）にも因みました。



安齋 省吾 師

(あんざい しょうご)

昭和22（1947）年生まれ。
横笛（龍笛・高麗笛・神楽笛）・左舞・箏。
昭和44年楽師。元宮内庁楽部首席楽長。
平成28年度下總院一（しもおさかんいち）音楽賞を受賞。



フェニーチェ堺（堺市民芸術文化ホール）

堺市堺区翁橋町2-1-1

●南海高野線堺東駅より徒歩8分

●最寄りまでバスご利用の場合
（方法その1）

JR/南海高野線三国ヶ丘駅2番4番のりばから、
堺駅南口行に乗車、一条通バス停（約5分）下車
（方法その2）

南海本線堺駅より南海バスで一条通バス停（約12分）下車

●駐車場30分/200円 利用時間：00：00～24：00

チケット申し込み用紙

FAX.06-6648-8190

お名前	チケット	枚
ご住所（チケット送付先）〒		
お電話	F A X	

■お申込み・お問合せ先



オフィス 博雅

〒556-0017 大阪府大阪市
浪速区湊町2丁目2-5-818

TEL.080-2415-2347



ホームページアドレス / <http://hakugakai.jimdo.com/>
Eメールアドレス / hakugakai@bird.ocn.ne.jp